

広報 令和2年度最終号!

くどやま

2021
3月号
NO. 545

広報
くどやま
2020
4月号
No.534



紀州くどやまどんぐり鉄砲隊

第12回 町家の人形めぐり
■開催期間 4月11日(土)～5月5日(火)
■開催時間 午前10時～午後4時

広報
くどやま
2020
5月号
No.535



夢を描いて大空へ羽ばたけ!

今年もこいのぼりが商工会青年部の力を借りて大空を泳ぎ始めました。九度山小学校の児童がそれぞれの夢や目標をのせて、作ったカラフルなこいのぼりも仲間入りしました。

広報
くどやま
2020
6月号
No.536



風にゆれる牡丹

～緊急事態宣言の中、満開を迎えていた牡丹～

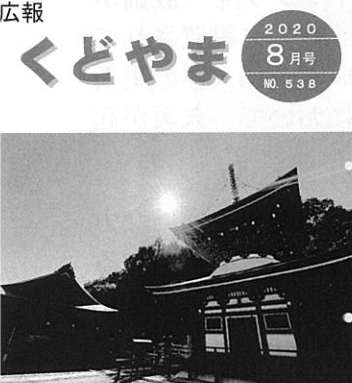
広報
くどやま
2020
7月号
No.537



待ちに待った 登校

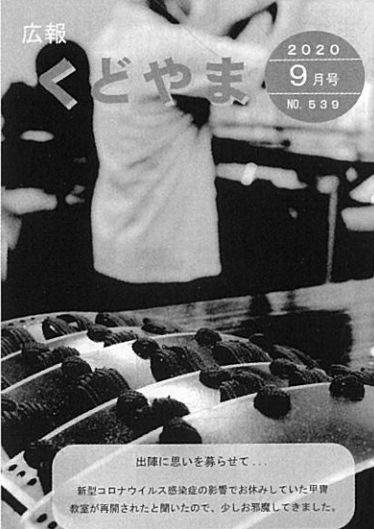
コロナウイルス感染症拡大予防のため休校していた学校が、6月1日から始まりました。子どもたちは大きな荷物をたくさん抱えて元気に登校していました。

広報
くどやま
2020
8月号
No.538



女性とともに今に息づく女人高野
時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～
「日本遺産」に認定される!

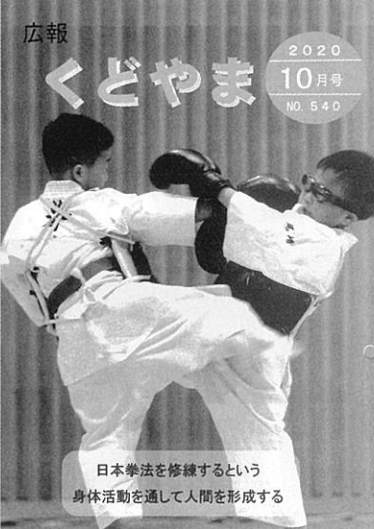
広報
くどやま
2020
9月号
No.539



出陣に思いを募らせて...

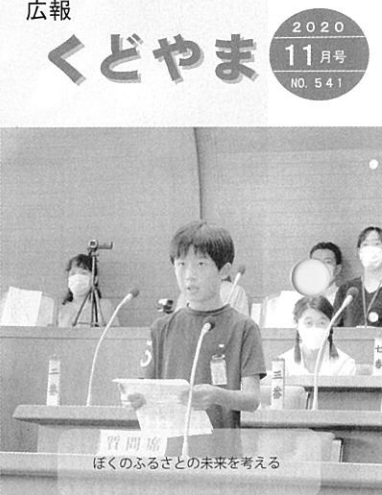
新型コロナウイルス感染症の影響でお休みしていた甲賀教室が再開されたと聞いたので、少しお邪魔してきました。

広報
くどやま
2020
10月号
No.540



日本拳法を修練するという
身体活動を通して人間を形成する

広報
くどやま
2020
11月号
No.541




賢明な
ほくのふるさとの未来を考える

広報
くどやま
2020
12月号
No.542



面用紙の上の見慣れた風景に足が止まる
「九度山百景絵画展」

広報
くどやま
2021
1月号
No.543



あけましておめでとうございます。
今年は何年です。さらなる飛躍にむけ一歩一歩踏みしめて、歩みは遅くとも、顔を上げて進んでいきましょう。

広報
くどやま
2021
2月号
No.544

成人おめでとう



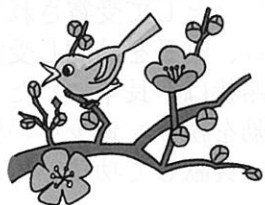
祝★長寿！！100歳おめでとうございます。これからもお元気で...★



▲ 中川さん

町長が100歳をお祝い

1月8日、岡本町長が100歳を迎えた中川コフサさんを訪問し、記念品をお渡しして長寿をお祝いいたしました。いつまでもお元気で長生きしてください。



スポーツ

なぎなたで優秀な成績



▲ 稲垣さん

令和2年12月20日(日)に、和歌山県立林高等学校において和歌山県高等学校なぎなた新人大会兼第16回全国高等学校なぎなた選抜大会和歌山県予選会が開催され、九度山なぎなた教室に所属する稲垣雄哉選手が出場し、見事優勝を収めました。

なお稲垣選手は、3月に開催予定の全国高等学校なぎなた選抜大会に出場します。

ソフトテニス激戦を勝ち抜き優勝



▲ 左から 北村さん、小山さん

令和2年12月5日(土)～6日(日)に滋賀県長浜市民庭球場で開催された第24回近畿小学生選抜インドソフトテニス大会女子個人戦で、北村朱寿加・小山希柁(九度山ジュニア・橋本ジュニア)ペアが激戦の末、初優勝を飾りました。

平成26年度から続く兵庫県の近畿インドア7連覇を阻止し、和歌山県では7年ぶりの優勝になりました。

文化財を火災から守る。

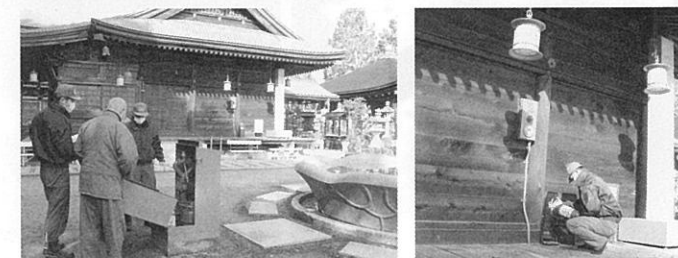
1月28日、九度山町の文化財を火災から守るため、町内社寺にて伊都消防署による立入検査が行われました。例年であれば、1月26日が「文化財防火デー」であることにちなんで、地元消防団の方々と協力し放水訓練などを行っていますが、今年は新型コロナウイルス感染症対策のため訓練は中止とし、立入検査のみの実施となりました。

社寺などの木造の文化財は、火災による被害を受けやすいため、内部からの出火予防だけでなく、類焼などを防ぐための対策等、予防設備が重要とされています。

立入検査では、火災をいち早く発見し、消火活動が行えるよう整備された設備はもちろん、万が一火災が起こった際には、燃え広がるのを防ぐ設備や、出火しやすい、放火されやすい状況にないかなどが確認されていました。



慈尊院には、火災による煙や熱を感知する自動火災報知設備、消火器、動力消防ポンプ設備が建物ごとに設置され、感知器や発信機が作動した際、どこで火災が起こっているかが一目でわかる受信機も設置されています。受信機周辺には、寺院の西側に設置された動力消防ポンプを起動させるスイッチなどがあり、消火活動が早く行える機能が整っています。本堂裏には、自衛用のドレンチャー設備があり、これは火の粉などから火が燃え移るのを防ぐために設置されています。また、各設備の維持管理状況に問題がないか、消火器の更新がされているかなどの点検はもちろん、建物内外において、火災が起きやすい状況がないかなども確認されていました。

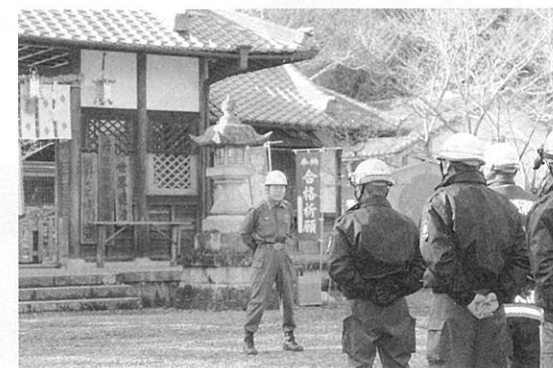


大切な文化財を次世代へと繋ぐため、様々な方面の手を借りて管理されていることを改めて知ることができました。毎年1月は、町内にある文化財に目を向け、防火・防災に意識を向ける月となってもいいのかもしれない。

毎年1月26日は「文化財防火デー」

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに由来しています。

この事件は国民に強い衝撃を与え、火災など災害による文化財保護の危機を深く憂慮する世論が高まり、翌昭和25年に文化財保護の統括的法律として文化財保護法が制定されました。その後、文化財保護行政も確立するとともに、文化財保護思想の一層の強化徹底を図るために普及啓発事業が行われるようになりました。その一環として、法隆寺金堂が焼損した日であることから、昭和30年に、1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を様々な災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。



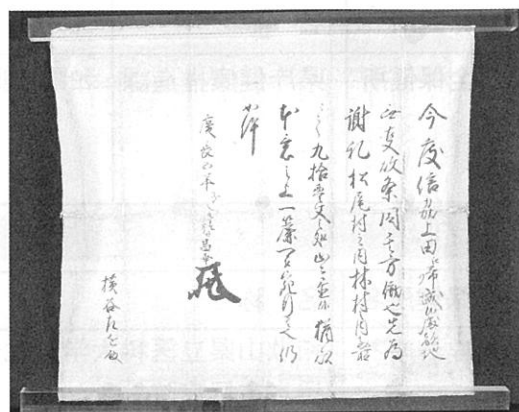
▲ 平成28年丹生官省符神社での訓練の様子
広報くどやま 令和3年3月号(2)

令和3年度九度山・真田ミュージアム誘客促進事業(企画展)は
「真田忍者、参上!展」
 を開催します。

令和3年度の九度山・真田ミュージアム誘客促進事業(企画展)は、4月1日(木)から翌年3月27日(日)まで、「真田忍者、参上!~忍びの術は攻めるにあらず~展」を開催する予定です。

真田忍者といえば、猿飛佐助や霧隠才藏など真田十勇士として真田昌幸、幸村に使えた忍者たちが有名です。

真田十勇士は明治時代の講談本や小説で創作されたものであり、近代になっても漫画やアニメ、ゲームへと変幻自在に姿を変えながら愛され続けるヒーローたちですが、歴史書を紐解くと「真田十勇士」のモデルとなったと考えられる実在の人物のことが記されています。知略で戦国時代を生きた真田一族には、実在した忍びの者たちが仕え、歴史の裏舞台で活躍していたのです。



▲真田昌幸 感状(慶長五年)横谷重則氏所蔵

今回、その実在モデルとされた群馬県の吾妻地域で真田忍者の痕跡を探るとともに、中之条町や東吾妻町の協力を得て、忍者に関する古文書類をはじめ、実際に使用されたという忍者道具を展示し、また、有名な忍者たちのエピソードとともに紹介します。

本企画展では歴史の影の立役者としての「忍者」たちの実像に迫り、その姿を解き明かすことで、子どもから年配の方まで、共に楽しめる企画展示とします。



■問い合わせ

和歌山県伊都郡九度山町大字九度山1452番地の4
 九度山・真田ミュージアム
 ☎0736-54-2727

なぎなた教室

なぎなた教室：毎週金曜日 午後6時~

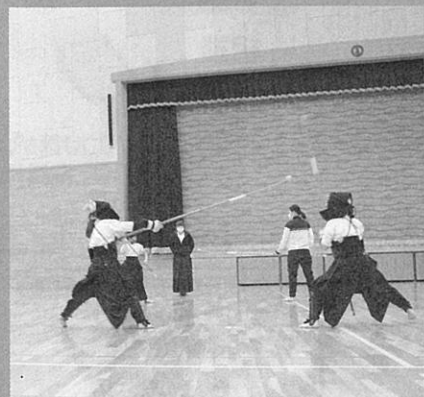
なぎなたは、国体の九度山町での開催種目に選ばれたことで、町にとって最も親しみのある武道の一つとなっています。

今ではなぎなた教室に、町内外を問わず参加される方も増えてきています。新型コロナウイルス感染症が令和2年12月末より再び猛威をふるい、年明けからは練習が町内の方のみになってしまいましたが、それでも元気に練習しています。

なぎなたは、年齢を問わず行える武道で、小さな子どもから大人までが一緒に取り組み楽しめるのが大きな特徴です。

大きななぎなたを持って行うため全身運動になり、型の練習などが主で、体を動かすのが苦手な方でも参加しやすいそうです。

コロナ禍で運動不足が気になる方、新しいことにチャレンジしたい方は、参加されてみてはいかがでしょうか?



県知事より

和歌山県教育表彰社会教育部門団体の部において感謝状が贈呈されました。

この度、椎出鬼の舞保存会の方々が、長年にわたり地域を挙げて伝統芸能の保持・継承に取り組み、50年にも及ぶ活動歴と、鬼の舞とそれに関連する諸行事を後世に長く伝承するために、地域住民の有志とともに囃子の演奏や謡の歌唱指導、鬼の舞の稽古、傘鉾作りや儀礼の作法指導など後継者育成に努め、和歌山県の伝統文化の振興に寄与したとして受賞されました。

1月28日、町長を訪問し受賞について報告されました。

この感謝状は、長年にわたり、社会教育活動に携わり献身的活動を続け、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献して功績が特に顕著である方々に贈られます。



▲中央 野中さん 右 松井さん

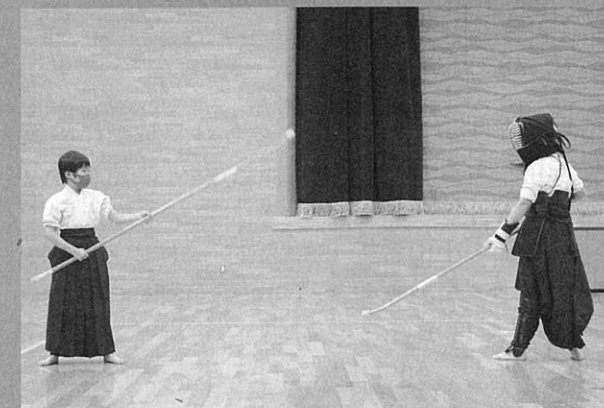
いまさら聞けない? 椎出鬼の舞



「鬼の舞」は、椎出地区に伝わる神事で、毎年8月16日に地元の氏神である巖島神社に奉納されます。鬼は、五穀豊穡・悪疫払い・雨乞いなどを祈願し、呪文を唱え舞います。椎出では「盆の鬼」と親しまれ、親から子へ、子から孫へと代々伝承し、600年以上も続いています。「盆の鬼」は、「十人衆」と呼ばれる能役者からなり、「十人衆」になることは、地域の男性にとって一人前の大人として認められ、祝福されるといった意味合いもあり、あこがれでもあります。また、その始まりから変わらず規律は厳正で、鬼や太鼓、笛などの役をするにも年齢などの順序があり今も守られています。このことから地域にとってこの行事がどれほど大切にされているかがわかります。

「鬼の舞」の鬼に息を吹きかけてもらうと子ども疳虫が治る、体の痛むところを撫でてもらうと治るなど、世代を越えて御利益がある鬼とされ、椎出地区だけでなく他の地区からも多くの子連れの家族が訪れます。賑わいのあるこの神事をまた見ることができると嬉しいです。

場所：九度山町文化スポーツセンター



▲こんなに体格差があっても、一緒に練習することができます。

ちょこっと参加者に聞いてみました。

なぎなたをやってみようと思ったきっかけは?

- ・演技を見て背筋がピンッと伸びているのがカッコいいと思ったから
- ・礼儀作法が身につくと思ったから
- ・当時の担任の先生に勧められて、体験に行った。など

これからの目標は?

- ・試合に出ると、自分の型の間違いに気づくことがある。練習をいっぱいして、試合で勝ちたい。

■問い合わせ 九度山町教育委員会 ☎54-2019

新型コロナウイルス感染症に関する「受診相談窓口」について

受診相談窓口の役割

和歌山県では、多数の発熱等の患者を地域の医療機関で適切に診療および検査を受けられる体制を整備するため、受診相談窓口を設置しています。発熱等の場合は、まずかかりつけ医等地域の身近な医療機関に電話で相談し、かかりつけ医がなく、どこを受診したらいいかわからない場合は、受診相談窓口にご相談します。受診相談窓口では、その地域の診療・検査医療機関や検査センターとその対応可能時間等を把握し、相談があった場合には、最寄りの適切な医療機関の案内を行っています。

和歌山県コールセンター

| 管轄保健所 | 名称 | 住所 | 受付時間 | 連絡先 |
|--------|---------|-------------|---------------------|--|
| 県内全保健所 | 県庁健康推進課 | 和歌山県小松原通1-1 | 24時間対応 (土・日・祝含む) | ☎073-441-2170 (専用ダイヤル) FAX073-431-1800 |

受診相談医療機関

| 管轄保健所名 | 名称 | 受付時間 | 連絡先 |
|--------|---|-------------------------------------|--------------|
| 橋本保健所 | 和歌山県立医科大学紀北分院 橋本市民病院 医療法人南労会 紀和病院 | 土・日曜日(祝日) 9:00~12:00 13:00~17:00 | ☎0570-001371 |

受診・相談センターの連絡先等

| 名称 | 住所 | 受付時間 | 連絡先 |
|-------|---------------|----------------------|----------------------------------|
| 橋本保健所 | 橋本市高野口町名古屋927 | 9:00~17:45 (平日のみ) | ☎0736-42-5440 FAX0736-42-0886 |

救急の場合の医療機関案内窓口 ※通常救急案内のダイヤルです

| 管轄保健所 | 名称 | 住所 | 受付時間 | 連絡先 |
|--------|------------|-------------|---------------------|---------------------------|
| 県内全保健所 | 救急医療情報センター | 和歌山県小松原通1-1 | 24時間対応 (土・日・祝含む) | ☎073-426-1199 (専用ダイヤル) |

イメージ図

